

## 第2学年道徳科学習指導案

令和4年12月1日(木) 第6校時  
四万十市立中村中学校  
生徒 2年3組 生徒数32名  
場所 2年3組教室  
授業者 治面地 恭平

### 1 主題名

ともに生きる社会 【社会参画、公共の精神】 中学校C(12)

### 2 ねらいと教材

#### (1) ねらい

「迷惑」という言葉の意味を問い直す筆者の主張から、よりよい社会の在り方について考えることを通して、社会連帯の大切さに気付き、社会に暮らす人々と互いに支え合い、ともによりよく生きていこうとする道徳的態度を養う。

#### (2) 教材名

『迷惑とは何ぞ』(出典：中学生の道徳 自分を考える2 廣済堂あかつき)

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

社会は多種多様な人々がともに暮らす共同体である。誰もが個々に事情を抱えていて、誰にでもできることとできないことがある。だから、社会に暮らすすべての人々は、支え、支えられて日々生活を送っている。社会をよりよいものに発展させていくためには、自分本位な見方や考え方に陥ることなく、社会連帯の自覚を深め、積極的に社会と関わっていかうとする態度が求められる。

#### (2) 生徒のこれまでの学習状況や実態と教師の願い

生徒たちはルールの中で友達と関わり合い、よりよく生きようとしている。その中でもトラブルがあり、そのたび話し合いを行い解決してきた。また、学年を通して進路に対する意識が低く、社会に出た際のイメージがあまり持っていない。そんな中でも社会にでると学校社会よりも大きい異年齢間での交流を行っていかなければならない。そんな時に必ず「迷惑」をかけることになるだろう。ただし「迷惑をかけない」ことが正しいことではなく、積極的に行動に移せないことの方がより問題である。もし「迷惑」をかけたとしても助け合うことや協力し合うことの大切さに気付いてほしい。悪いことをしていない自分は関係ないと思うようなことなく、自分事として様々なことを感じ取れるようになってもらいたいと同時に、それが社会に出て、様々なことにチャレンジしていきたいと思えるようになってもらいたい。

### (3) 使用する教材の特徴や取り上げた意図及び具体的な活用方法

三浦綾子氏の随筆を教材としたものである。「迷惑をかけない」という言葉の裏側には、「人に協力したくない」という冷酷さが潜んでいないかという筆者の指摘は、「自分には関係がない」と人との関わりを避けようとする消極的な姿勢への強烈な問題提起である。筆者の主張から社会連帯の大切さに気付かせ、積極的に社会と関わっていこうとする態度を育んでいきたい。

#### 4 学習指導過程

	学習活動	発問(中心発問◎、○)や問い返し(◆)と 予想される生徒の反応(・)	指導上の留意点 評価 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">多</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">自</span>
導入	1 本時の題材を知る	○「人に迷惑をかけないように」と言われたことがあるだろうか。今日は「迷惑」という言葉の意味について考えてみよう。	教材のタイトルを提示するなどして、すぐに教材に入る。
展開	2教材を読む (1)少女の苦悩について考える。	○母が自分を外に出さなかった理由を知った少女は、どのようなことを思ったのだろう。 ・母は自分のことを守ろうとしていたのか。 ・自分の社会に生きる場所はないのか。 ・母の気持ちは分かるけど、、、。 ・どうして障害があるというだけで、これほど苦しまないといけないのだろうか。	・教材を範読する。 ・「迷惑をかけてはならない」という考えから、外へ出られなかった少女の心情を、多様に捉える。
	(2)筆者が感じている問題を捉える。	○「人に迷惑をかけてはならない」という言葉の陰には、どのような問題が潜んでいるのだろう。 ・本当の迷惑と、迷惑と感じてはならないもののけじめがつけなくなっている。 ・人のために苦勞したくない、力を貸したくないという気持ちにつながる。 ・助けを必要としている人を拒絶し、傷つけることになる。 ◆助けを必要としている人は、社会的弱者だけ？ ・普段の生活の中でもある。 ・授業が分からないときに分からない人に教えることは迷惑じゃない。迷惑と思っははいけない。	・「迷惑をかけない」という言葉によって人々の関わり合いが減ることが、社会全体の在り方に関わることに気付かせたい。 ・補助的に発問し、社会と関わることに消極的な姿勢の問題について考えさせる。
	(3)社会連帯の在り方について考える。	◎よりよい社会(学校生活)にするために大切にしなければならないことってどんなことだろう？ ・自分にできる(分かる)範囲で助けよう。 ・相手の気持ちを思いやる気持ちを持つこと。 ・社会に暮らす人々がお互い様という気持ちを持つこと。 ・できないことがある人に手を貸すのは当たり前だということ。 ◆みんながこうなれば、よりよい社会になるだろうか？ ・なると思う。 ・行動で示すことが大切。 ・意識を変えて、行動につなげることで社会はより良くなる。	<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">多</span> 「人に迷惑をかけてはいけない」という言葉の陰にある問題を様々な視点から捉え考えている。 ・身近にも大なり小なり困っている人が存在することに気づき、社会に暮らす全ての人々が大切にすべきことを考える。 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">自</span> よりよい社会の在り方について友だちと話し合い、自分の考えを見直しながら、社会連帯の大切さについて自己との関わりで考えを深めている。

終末	3文章化	○今日の授業を通して感じたことや考えたことをノートに書いてみよう。	・今後、自分が困ったときにどうすればよいか、今までの自分の行動と比較してどんな行動につなげていきたいか、意識の変容について意識させる。
----	------	-----------------------------------	---

### 5 評価（評価方法）

**多** 「人に迷惑をかけてはいけない」という言葉の陰にある問題を様々な視点から捉え考えている。（発言・ワークシート）

**自** よりよい社会の在り方について友だちと話し合い、自分の考えを見直しながら、社会連帯の大切さについて自己との関わりで考えを深めている。（発言・ワークシート）

### 6 板書計画

迷惑とは何ぞ

○母の行動の理由を知ってどう感じただろうか？

・母は自分のことを守ろうとしていたのか。

・自分には社会に生きる場所はないのか。

・母の気持ちは分かるけど、…。

○人に迷惑をかけてはならない。

**問題点**

・本場の迷惑と、迷惑と感じてはならないものけじめがつけなくなっている。

・人のために苦勞したくない。

・助けを必要とする人を拒絶し、傷つけることになる。

↓社会的弱者だけ？

・普通の場面でもある。

・学校でも似たような状況を感じる。

○よりよい社会(学校生活)にするために大切にしなければならぬことってどんなことだろうか？

・自分にできる(わかる)範囲で助けること。

・相手の気持ちを思いやる気持ちを持つこと。

・社会に暮らす人々がお互い様という気持ちをもつこと。

・できないことがある人に手を貸すのは当たり前前だと思ふこと。

↓みんながこうなれば、よりよい社会になる？

・なると思ふ。

・行動で示すことが大切。

・意識を変えて、行動につなげることで社会はより良くなる。

### 7 他の教育活動との関連

